

広島市報

号外第3号
令和4年3月18日

発行所
広島市役所
(企画総務局法務課)

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

公営企業の業務状況の報告

公 告

令和4年2月16日

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき、広島市水道事業、広島市下水道事業及び広島市安芸市民病院事業の業務の状況を次のとおり公表します。

広島市長 松井 一 實

目 次

- 令和3年度第1回広島市水道事業の業務状況..... 1
- 令和3年度第1回広島市下水道事業の業務状況.....12
- 令和3年度第1回広島市安芸市民病院事業の業務状況.....24

令和3年度第1回広島市水道事業の業務状況

1 事業の概況

令和3年度上半期（令和3年4月1日から同年9月30日まで）における水道事業の概況は、次のとおりです。

(1) 給水の状況

ア 給水戸数及び給水人口

今期末における給水戸数は59万2,984戸、給水人口は1,230,978人で、これを前年度同期と比較すると、給水戸数では3,346戸（0.6%）の増加、給水人口では3,334人（0.3%）の減少となっています。

また、普及率は98.3パーセントとなっています。

区 分		令和3年度	令和2年度	比 較	
		上半期	上半期	増△減	増減率(%)
給水戸数	戸	592,984	589,638	3,346	0.6
給水区域内人口(A)	人	1,252,553	1,256,183	△ 3,630	△ 0.3
給水人口(B)	人	1,230,978	1,234,312	△ 3,334	△ 0.3
普及率(B/A×100)	%	98.3	98.3	0.0ポイント	—

イ 給水量

給水量は6,626万1,386立方メートルで、これを前年度同期と比較すると、59万3,079立方メートル（0.9%）の減少となっています。

また、一日最大給水量は38万9,358立方メートル

となっています。

区 分		令和3年度	令和2年度	比 較	
		上半期	上半期	増△減	増減率(%)
給水量	m ³	66,261,386	66,854,465	△ 593,079	△ 0.9
一日平均給水量	m ³	362,084	365,325	△ 3,241	△ 0.9
一日最大給水量	m ³	389,358	391,778	△ 2,420	△ 0.6

(2) 主要施策の実施状況

ア 安全でおいしい水の供給

水源からお客さまの蛇口に至るまでの水質管理体制の強化を図るとともに、安心な水を安定的に使用していただけるよう、未配管路線への配水管路の整備に取り組みます。

また、豊かな清流である太田川を次世代へ引き継いでいくため、「広島市・太田川源流の森」の水源かん養林を整備するとともに、高効率機器を導入するなど環境に配慮した施設整備による省エネルギーを推進し、環境負荷の低減を図ります。

事業内容	令和3年度 事業費	今 期 事業費
安全でおいしい水の供給	1,239,097,000 円	988,291,310 円
水質管理体制の強化	90,172,000	26,893,750
水質監視・保安体制の確保	43,175,000	0
水質検査体制の強化	36,298,000	26,893,750
残留塩素濃度の低減・監視	10,699,000	0
安心な水の安定供給	597,634,000	371,107,939
配水施設の機能向上	597,634,000	371,107,939
環境負荷の低減	551,291,000	590,289,621
水源かん養林の整備	6,911,000	0
流域自治体との連携	1,426,000	1,426,000
省エネルギーの推進	542,954,000	588,863,621

注：事業費については前年度からの繰越分を含む。

イ 水道施設の更新・改良

施設の更新・改良については、浄水・配水施設の統廃合として、老朽化が進む府中浄水場の廃止に向けた関連整備を推進します。また、構造物や機械及び電気設備は、点検・補修による長寿命化を図った上で、計画的な更新を推

進みます。さらに、施設の更新に併せて耐震化や維持管理効率の向上を図ります。

管路の更新については、点検や漏水防止調査の結果を活用して管路を評価し、優先順位を設定した上で計画的な更新を推進します。また、実施に当たっては、すべて耐震管を採用し、管路の耐震化を図ります。

事業内容	令和3年度 事業費	今 期 事業費
水道施設の更新・改良	9,197,027,000	8,316,192,800
施設の更新・改良	5,299,732,000	3,696,376,069
浄水・配水施設の統廃合	314,168,000	278,348,677
構造物の更新・改良	2,883,502,000	2,053,704,410
機械及び電気設備の更新・改良	1,605,313,000	891,136,837
効率的な運轉管理体制の構築	496,749,000	473,186,145
管路の更新	3,897,295,000	4,619,816,731
管路の更新	3,832,816,000	4,564,169,643
漏水防止の推進	64,479,000	55,647,088

注：事業費については前年度からの繰越分を含む。

ウ 災害対策の充実

地震による被害を最小限にとどめるため、構造物の耐震化や、災害拠点病院等の重要給水施設への配水管路の耐震化を推進します。

また、事故や災害に備えて配水幹線の相互連絡管等のバックアップ施設を整備するとともに、停電に備えて非常用電源を確保します。

さらに、水道施設が被災した直後においても必要最低限の飲料水を確保できるよう配水池への緊急遮断弁の整備等に取り組みます。

事業内容	令和3年度 事業費	今 期 事業費
災害対策の充実	1,835,300,000	1,974,616,422

ア 収入

区 分	令 和 3 年 度		執行率	前年度同期収入額	比 較	
	予 算 額	今期収入額			増 △ 減	増減率
水道事業収益	25,640,362,000	11,997,611,948	46.8	12,100,575,140	△ 102,963,192	△ 0.9
営業収益	22,897,828,000	10,681,705,675	46.6	10,820,305,362	△ 138,599,687	△ 1.3
給水収益	20,451,152,000	9,981,725,757	48.8	10,031,844,277	△ 50,118,520	△ 0.5
受託工事収益	912,710,000	55,728,981	6.1	84,307,792	△ 28,578,811	△ 33.9
その他の営業収益	1,533,966,000	644,250,937	42.0	704,153,293	△ 59,902,356	△ 8.5
業務受託収入	1,418,446,000	643,735,087	45.4	703,497,443	△ 59,762,356	△ 8.5
その他	115,520,000	515,850	0.4	655,850	△ 140,000	△ 21.3
営業外収益	2,721,216,000	1,312,730,532	48.2	1,276,139,759	36,590,773	2.9
特別利益	21,318,000	3,175,741	14.9	4,130,019	△ 954,278	△ 23.1

災害対策の充実		円	円
水道施設の耐震化		446,187,000	300,365,508
構造物の耐震化	井口台調整池の耐震補強等	87,452,000	23,419,644
重要給水施設への配水管路の耐震化	災害拠点病院等への配水管路の耐震化	358,735,000	276,945,864
バックアップ機能の強化		1,382,010,000	1,651,455,471
バックアップ施設の整備	相互連絡管の整備等	1,298,581,000	1,628,604,208
非常用電源の確保	戸坂取水場無停電電源装置の整備等	83,429,000	22,851,263
応急対策の推進		7,103,000	22,795,443
飲料水の確保	緊急遮断弁の整備	6,283,000	22,795,443
応急用資機材の整備	給水車器具備品等の購入	820,000	0

注：事業費については前年度からの繰越分を含む。

エ 平成30年7月豪雨災害復旧

平成30年7月豪雨災害に係る復旧を着実に実施します。

事業内容	令和3年度 事業費	今 期 事業費
平成30年7月豪雨災害復旧	101,134,000	60,975,293

注：事業費については前年度からの繰越分を含む。

2 経理の状況

令和3年度上半期の経理状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収入及び支出

今期の収益的収入は119億9,761万1,948円で、前年度同期と比較すると、1億296万3,192円(0.9%)の減少となっています。

この主な理由は、業務受託収入の減に伴う営業収益の減少によるものです。

一方、収益的支出は94億9,062万8,007円で、前年度同期と比較すると、1億3,908万4,103円(1.4%)の減少となっています。

この主な理由は、職員給与費等の減少によるものです。

イ 支出

区 分	令 和 3 年 度		執行率	前年度同期支出額	比 較	
	予 算 額	今期支出額			増 △ 減	増減率
水 道 事 業 費 用	円 24,852,610,000	円 9,490,628,007	% 38.2	円 9,629,712,110	円 △ 139,084,103	% △ 1.4
営 業 費 用	23,026,121,000	8,998,693,774	39.1	9,086,026,273	△ 87,332,499	△ 1.0
職 員 給 与 費	4,748,237,000	1,871,070,118	39.4	2,028,636,583	△ 157,566,465	△ 7.8
受 水 費	2,129,993,000	900,030,957	42.3	908,080,622	△ 8,049,665	△ 0.9
委 託 ・ 補 修 費	3,375,098,000	1,014,136,514	30.0	874,906,424	139,230,090	15.9
動 力 ・ 薬 品 費	1,367,547,000	629,634,706	46.0	645,428,243	△ 15,793,537	△ 2.4
減 価 償 却 費	8,256,403,000	4,128,201,500	50.0	4,120,395,500	7,806,000	0.2
そ の 他	3,148,843,000	455,619,979	14.5	508,578,901	△ 52,958,922	△ 10.4
営 業 外 費 用	1,800,675,000	476,504,200	26.5	525,773,257	△ 49,269,057	△ 9.4
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	1,028,869,000	474,191,159	46.1	523,485,420	△ 49,294,261	△ 9.4
そ の 他	771,806,000	2,313,041	0.3	2,287,837	25,204	1.1
特 別 損 失	15,814,000	15,430,033	97.6	17,912,580	△ 2,482,547	△ 13.9
予 備 費	10,000,000	0	0.0	0	0	-

(2) 資本的収入及び支出

今期の資本的収入は5,301万712円で、前年度同期と比較すると、1,952万9,966円(26.9%)の減少となっています。

一方、資本的支出は64億3,202万9,557円で、前年度同期と比較すると、12億4,405万5,938円(24.0%)の増加となっています。

ア 収入

区 分	令 和 3 年 度		執行率	前年度同期収入額	比 較	
	予 算 額	今期収入額			増 △ 減	増減率
資 本 的 収 入	円 7,887,659,000	円 53,010,712	% 0.7	円 72,540,678	円 △ 19,529,966	% △ 26.9
企 業 債	7,433,500,000	1,800,000	0.0	47,200,000	△ 45,400,000	△ 96.2
出 資 金	93,685,000	0	0.0	0	0	-
補 助 金	28,179,000	0	0.0	0	0	-
受 託 建 設 収 入	156,522,000	51,210,712	32.7	25,305,320	25,905,392	102.4
工 事 負 担 金	171,697,000	0	0.0	0	0	-
固 定 資 産 売 却 代 金	4,076,000	0	0.0	0	0	-
そ の 他 資 本 的 収 入	0	0	-	35,358	△ 35,358	皆減

イ 支出

区 分	令 和 3 年 度		執行率	前年度同期支出額	比 較	
	予 算 額	今期支出額			増 △ 減	増減率
資 本 的 支 出	円 18,133,799,000	円 6,432,029,557	% 35.5	円 5,187,973,619	円 1,244,055,938	% 24.0
建 設 改 良 費	12,092,997,000	3,692,899,879	30.5	2,504,815,326	1,188,084,553	47.4
配 水 施 設 整 備 費	9,897,488,000	3,391,816,470	34.3	2,307,189,393	1,084,627,077	47.0
浄 水 施 設 整 備 費	1,836,339,000	177,250,600	9.7	101,809,463	75,441,137	74.1
受 託 建 設 費	150,801,000	49,898,217	33.1	25,631,035	24,267,182	94.7
諸 設 備 新 設 費 等	208,369,000	73,934,592	35.5	70,185,435	3,749,157	5.3
企 業 債 償 還 金	6,019,252,000	2,738,999,369	45.5	2,683,158,293	55,841,076	2.1
補 助 金 返 還 金	21,550,000	130,309	0.6	0	130,309	皆増

3 資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高

令和3年9月30日現在の資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高は、次のとおりです。

(1) 資産

ア 固定資産 210,441,635,582円
イ 流動資産 9,923,730,389円

計	220,365,365,971円
(2) 企業債	63,381,239,589円
(3) 長期借入金	0円（借入れなし。）
(4) 一時借入金	0円（借入れなし。）

4 令和2年度決算の状況

令和2年度決算は、次のとおりです。

(1) 総括事項

水道は、お客さまの生命や健康に直接関わる重要なライフラインであるため、将来にわたって給水の安全性・安定性を確保していく必要があります。

このため、本市では、持続可能な水道システムの構築に向けて、平成30年度から令和3年度までの4か年を計画期間とする中期経営計画を策定し、「安全でおいしい水の供給」、「水道施設の更新・改良」、「災害対策の充実」を主要施策として掲げ、計画的な施設整備を推進しています。

また、「平成30年7月豪雨災害復旧」についても、主要施策の一つに加えて、水道施設の改良復旧を図っています。

令和2年度は、この基本方針に沿って主要施策を推進するとともに、効率的な経営に努めました。

(2) 業務状況

令和2年度の業務量は、下表のとおりです。

区 分	単 位	令和2年度	令和元年度	対前年度 増 △ 減	対前年度 伸び率(%)
給 水 戸 数	戸	591,591	586,732	4,859	0.8
給水区域内人口(A)	人	1,253,824	1,255,173	△ 1,349	△ 0.1
給 水 人 口 (B)	人	1,232,249	1,233,302	△ 1,053	△ 0.1
普 及 率 $\frac{(B)}{(A)}$	%	98.3	98.3	0.0ポイント	—
年間給水量(C)	m ³	133,804,775	133,798,027	6,748	0.0
年間有収水量(D)	m ³	126,647,249	126,718,014	△ 70,765	△ 0.1
有 収 率 $\frac{(D)}{(C)}$	%	94.7	94.7	0.0ポイント	—

(3) 主要施策

令和2年度に施行した主な事業内容は、次のとおりです。

ア 安全でおいしい水の供給

水質管理体制の強化として事業費7,285万9,586円で、水質計器及び水質検査機器の整備等を行いました。

安心な水の安定供給として事業費4億6,870万693円で、4,844メートルの配水管路の整備等を行いました。

環境負荷の低減として事業費8,342万6,250円で、水源かん養林の整備及び高効率機器の導入等を行いました。

イ 水道施設の更新・改良

施設の更新・改良として事業費2億7,218万6,641円で、施設の統廃合の関連整備及び取水・浄水・配水施設の更新・改良等を行いました。

管路の更新として事業費3億1,607万9,366円で、2万4,248メートルの鋳鉄管・ビニル管の更新等を行いました。

ウ 災害対策の充実

水道施設の耐震化として事業費2億13万9,673円で、耐震補強工事等を行いました。

バックアップ機能の強化として事業費13億4,703万4,596円で、相互連絡管の整備等を行いました。

応急対策の推進として事業費3,585万3,004円で、応急給水用資機材の整備を行いました。

エ 平成30年7月豪雨災害復旧

平成30年7月豪雨災害復旧として事業費2億2,561万6,955円で、配水管等復旧工事を行いました。

(4) 財政状況

ア 収益的収支

収益的収支は、事業活動に伴う水道料金を主体とした収入とそれに対応する維持管理費等の支出を計上しています。

令和2年度の収益的収入は227億8,837万5,195円で、令和元年度と比較して、6.3パーセントの減少となりました。

一方、収益的支出は224億9,857万4,231円で、令和元年度と比較して、0.8パーセントの減少となり、差引き2億8,980万964円の純利益を生じました。

イ 資本的収支

資本的収支は、水道施設の整備を行うために必要な企業債等の収入と建設改良費及び企業債償還金等の支出を計上しています。

令和2年度の資本的収入は46億1,592万9,380円で、これに対して、資本的支出は134億7,047万340円で、差引き88億5,454万960円の資金不足を生じました。

この不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

ウ 利益剰余金

令和元年度末の利益剰余金に、資本金への組入額を減じ、令和2年度の純利益を加算した結果、令和2年度末の利益剰余金は95億3,788万8,229円となりました。

なお、資金残高は、令和2年度末の利益剰余金から令和2年度の建設改良積立金取崩額14億5,173万6,166円を差し引いた80億8,615万2,063円となりました。

令和2年度広島市水道事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収入

区分	予算額				決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定 による支出額及び第26条第2項の規 定による繰越額に係る財源充当額	合計			
第1款 水道事業収益	円	円	円	円	円		
第1項 営業収益	25,502,426,000	0	0	25,502,426,000	△ 667,560,557		
第2項 営業外収益	22,601,944,000	0	0	22,601,944,000	△ 464,803,261	[うち、仮受消費税及び地方消費税 1,990,653,713円]	
第3項 特別利益	2,879,145,000	0	0	2,879,145,000	△ 187,132,287	[うち、仮受消費税及び地方消費税 57,933,060円]	
	21,337,000	0	0	21,337,000	△ 15,625,009	[うち、仮受消費税及び地方消費税 111,086円]	

支出

区分	予算額				決算額	地方公営企業 法第26条第2 項の規定によ る繰越額	備考
	当初予算額	補正予算額	予備費 支出額	流用 増減額			
第1款 水道事業費用	円	円	円	円	円		
第1項 営業費用	24,877,092,000	0	0	24,877,092,000	23,926,266,085	183,905,000	
第2項 営業外費用	22,535,872,000	0	0	22,535,872,000	21,848,173,876	183,905,000	[うち、仮払消費税及び地 方消費税 758,597,715円]
第3項 特別損失	2,005,675,000	0	0	2,005,675,000	1,777,049,778	0	[うち、仮払消費税及び地 方消費税 165,854円]
第4項 予備費	325,545,000	0	0	325,545,000	301,042,431	0	[うち、仮払消費税及び地 方消費税 792,718円]
	10,000,000	0	0	10,000,000	0	0	

(収入) (支出)

24,834,865,443円 - 23,926,266,085円 = 908,599,358円
 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 △ 523,364,499円
 貯蔵品購入に係る消費税及び地方消費税仕入控除額等 △ 95,433,895円
 純利益 289,800,964円

(2) 資本的収入及び支出
収 入

区 分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額に係 る財源充当額			
第1款 資本的収入	円	円	円	円	円	円	企業債内訳 予算額 (予算残額内訳) 7,653,200,000円 翌年度繰越財源額 821,300,000円
第1項 企業債	7,506,691,000	0	7,506,691,000	704,895,000	8,211,586,000	△ 3,595,656,620	7,653,200,000円 収入額 4,330,500,000円 予算残額 3,322,700,000円
第2項 出資金	7,079,400,000	0	7,079,400,000	573,800,000	7,653,200,000	△ 3,322,700,000	2年度不用額 2,501,400,000円
第3項 補助金	118,147,000	0	118,147,000	0	118,147,000	△ 2,012	
第4項 受託建設収入	44,232,000	0	44,232,000	108,712,000	152,944,000	△ 52,112,000	
第5項 工事負担金	127,277,000	0	127,277,000	20,954,000	148,231,000	△ 122,925,680	[うち、仮受消費税及び地方消費税 2,300,484円]
第6項 固定資産売却代金	133,522,000	0	133,522,000	1,429,000	134,951,000	△ 93,888,566	[うち、仮受消費税及び地方消費税 714,172円]
第7項 その他資本的収入	4,076,000	0	4,076,000	0	4,076,000	△ 4,076,000	
	37,000	0	37,000	0	37,000	47,638	[うち、仮受消費税及び地方消費税 7,694円]

支 出

区 分	予 算 額				決 算 額	翌年度繰越 地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額	継続 費通 次繰 越額	合 計	不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	流用 増減 額	小 計						
第1款 資本的支出	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
第1項 建設改良費	16,803,987,000	0	0	16,803,987,000	1,708,929,000	0	18,512,916,000	13,470,470,340	1,664,873,000	3,377,572,660
第2項 企業債償還金	10,899,006,000	0	0	10,899,006,000	1,708,929,000	0	12,607,935,000	7,678,429,415	1,664,873,000	3,264,632,585
第3項 補助金返還金	5,883,494,000	0	0	5,883,494,000	0	0	5,883,494,000	5,791,946,805	0	91,547,195
	21,487,000	0	0	21,487,000	0	0	21,487,000	94,120	0	21,392,880

注：資本的収入額が、資本的支出額に対して不足する額8,854,540,960円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収入消費税資本的収入調整額5,973,822円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収入調整額523,364,499円、当年度分損益勘定留保資金6,873,466,473円及び建設改良積立金1,451,736,166円をもって補填した。

令和2年度広島市水道事業損益計算書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位 円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	18,405,884,349		
(2) 受託工事収益	360,297,665		
(3) その他の営業収益	<u>1,380,305,012</u>	20,146,487,026	
2 営業費用			
(1) 原水費	876,261,650		
(2) 共同原水費	463,169,040		
(3) 浄水費	1,510,457,423		
(4) 配水費	4,551,121,856		
(5) 給水費	1,031,397,790		
(6) 受託工事費	383,662,737		
(7) 業務費	1,661,479,122		
(8) 総係費	1,292,077,179		
(9) 減価償却費	8,207,190,504		
(10) 資産減耗費	<u>1,112,758,860</u>	<u>21,089,576,161</u>	
営業損失			943,089,135
3 営業外収益			
(1) 受取利息	239,305		
(2) 補助金	193,197,196		
(3) 長期前受金戻入	1,852,660,869		
(4) 施設整備納付金	516,630,000		
(5) 雑収益	<u>73,559,894</u>	2,636,287,264	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	1,105,329,008		
(2) 雑支出	<u>2,627,044</u>	<u>1,107,956,052</u>	<u>1,528,331,212</u>
経常利益			585,242,077
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	1,810,457		
(2) 長期前受金戻入	3,727,523		
(3) その他特別利益	<u>62,925</u>	5,600,905	
6 特別損失			
(1) 減損損失	282,334,555		
(2) 過年度損益修正損	<u>18,707,463</u>	<u>301,042,018</u>	<u>△ 295,441,113</u>
当年度純利益			289,800,964
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			<u>1,451,736,166</u>
当年度未処分利益剰余金			<u><u>1,741,537,130</u></u>

令和2年度広島市水道事業剰余金計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位 円)

	剰 余 金											資本合計
	資 本 金		資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金			金			
	国庫(県)補助金	工事負担金	受贈財産評価額	一般会計補助金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	剰余金	剰余金	
前年度末残高	114,598,585	1,710,321,472	3,369,230,053	4,417,929	46,659,005	5,245,227,044	7,606,034,817	3,177,558,625	10,783,593,442	105,245,868,580		
前年度処分額	0	0	0	0	0	0	1,642,052,448	△ 3,177,558,625	△ 1,535,506,177	0		
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0	0	1,642,052,448	△ 3,177,558,625	△ 1,535,506,177	0		
建設改良積立金の積立て	0	0	0	0	0	0	1,642,052,448	△ 1,642,052,448	0	0		
資本金への組入れ	0	0	0	0	0	0	0	△ 1,535,506,177	△ 1,535,506,177	0		
処分後残高	114,598,585	1,710,321,472	3,369,230,053	4,417,929	46,659,005	5,245,227,044	9,248,087,265	(繰越利益剰余金) 0	9,248,087,265	105,245,868,580		
当年度変動額	118,144,988	0	0	0	0	0	△ 1,451,736,166	1,741,537,130	289,800,964	407,945,952		
一般会計出資金の受入れ	118,144,988	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
建設改良積立金の取崩し	0	0	0	0	0	0	△ 1,451,736,166	1,451,736,166	0	0		
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	0	289,800,964	289,800,964	289,800,964		
当年度末残高	114,598,585	1,710,321,472	3,369,230,053	4,417,929	46,659,005	5,245,227,044	7,796,351,099	(当年度未処分利益剰余金) 1,741,537,130	9,537,888,229	105,653,814,532		

令和2年度広島市水道事業剰余金処分計算書

(単位 円)

	資 本 金	資 本 剰 余 金	未処分利益剰余金
当年度末残高	90,870,699,259	5,245,227,044	1,741,537,130
議会の議決による処分額	1,451,736,166	0	△ 1,741,537,130
建設改良積立金の積立て	0	0	△ 289,800,964
資本金への組入れ	1,451,736,166	0	△ 1,451,736,166
処分後残高	92,322,435,425	5,245,227,044	(繰越利益剰余金) 0

令和2年度広島市水道事業貸借対照表
(令和3年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		14,931,715,155	
ロ 立 木		381,167,382	
ハ 建 物	17,931,467,192		
減価償却累計額	<u>△ 10,546,998,117</u>	7,384,469,075	
ニ 構 築 物	310,089,558,608		
減価償却累計額	<u>△ 166,640,185,077</u>	143,449,373,531	
ホ 機 械 及 び 装 置	43,165,371,457		
減価償却累計額	<u>△ 31,064,386,648</u>	12,100,984,809	
ヘ 車 両 運 搬 具	132,219,585		
減価償却累計額	<u>△ 85,035,899</u>	47,183,686	
ト 工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	783,448,236		
減価償却累計額	<u>△ 563,502,434</u>	219,945,802	
チ リ ー ス 資 産	343,507,200		
減価償却累計額	<u>△ 175,902,360</u>	167,604,840	
リ 建 設 仮 勘 定		<u>2,726,764,992</u>	
有形固定資産合計			181,409,209,272

(2) 無形固定資産

イ ダ ム 使 用 権		24,940,519,773	
ロ 水 利 権		2	
ハ 地 上 権		14	
ニ 施 設 利 用 権		418,930,377	
ホ 営 業 権		1	
ヘ 電 話 加 入 権		33,825,471	
ト ソ フ ト ウ ェ ア		<u>1,916,000</u>	
無形固定資産合計			25,395,191,638

(3) 投資その他の資産

イ 出 資 金		25,100,000	
ロ 破 産 更 生 債 権 等	125,159,440		
貸倒引当金	<u>△ 125,159,440</u>	0	
投資その他の資産合計			<u>25,100,000</u>

2 流動資産

(1) 現金預金		9,501,713,967	
(2) 未収金	1,954,981,526		
貸倒引当金	<u>△ 57,581,007</u>	1,897,400,519	
(3) 有価証券		6,000,000	
(4) 貯蔵品		1,058,321,090	
(5) 前払金		875,209,000	
(6) その他流動資産		<u>8,921,353</u>	
流動資産合計			<u>13,347,565,929</u>
資産合計			<u>220,177,066,839</u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債
企業債合計

60,273,364,526

60,273,364,526

(2) リース債務

105,194,664

(3) 引当金

イ 退職給付引当金
引当金合計
固定負債合計

5,106,901,851

5,106,901,851

65,485,461,041

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債
企業債合計

5,845,074,432

5,845,074,432

(2) リース債務

76,080,240

(3) 未払金

3,476,410,042

(4) 前受金

120,020,000

(5) 引当金

イ 賞与引当金
引当金合計

299,939,566

299,939,566

(6) その他流動負債

611,552,036

流動負債合計

10,429,076,316

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

イ 国庫（県）補助金
収益化累計額
ロ 工事負担金
収益化累計額
ハ 受贈財産評価額
収益化累計額
ニ 一般会計補助金
収益化累計額
ホ その他長期前受金
収益化累計額
長期前受金合計
繰延収益合計
負債合計

15,559,825,972

△ 6,247,386,609

44,459,736,519

△ 28,496,563,825

37,230,775,771

△ 24,331,656,545

118,707,885

△ 73,802,566

1,156,253,719

△ 767,175,371

9,312,439,363

15,963,172,694

12,899,119,226

44,905,319

389,078,348

38,608,714,950

38,608,714,950

114,523,252,307

資 本 の 部

6 資 本 金

90,870,699,259

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

イ 国庫（県）補助金
ロ 工事負担金
ハ 受贈財産評価額
ニ 一般会計補助金
ホ その他資本剰余金
資本剰余金合計

114,598,585

1,710,321,472

3,369,230,053

4,417,929

46,659,005

5,245,227,044

(2) 利 益 剰 余 金

イ 建設改良積立金
ロ 当年度未処分利益剰余金
利益剰余金合計

7,796,351,099

1,741,537,130

9,537,888,229

剰余金合計

14,783,115,273

資本金合計

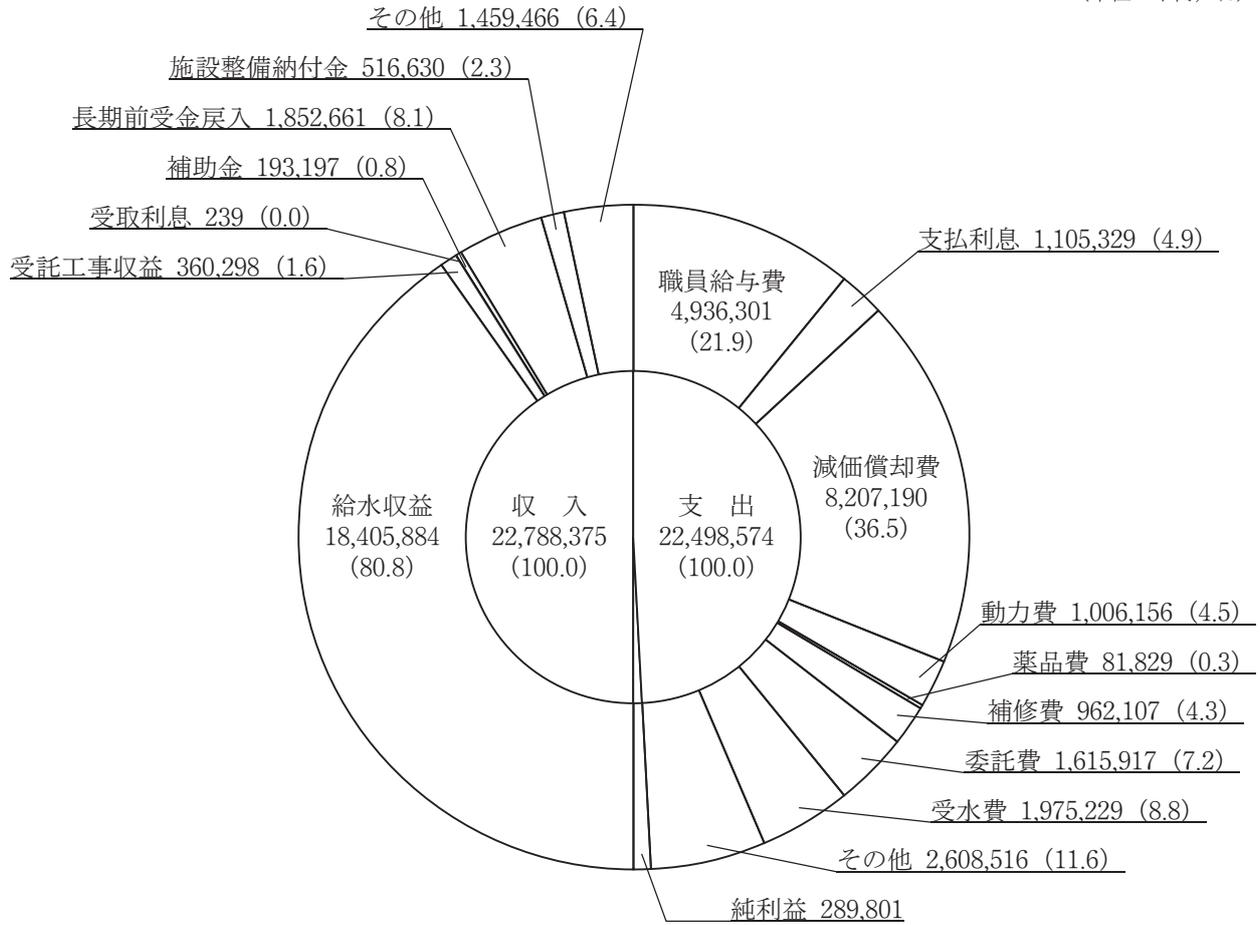
105,653,814,532

負債資本合計

220,177,066,839

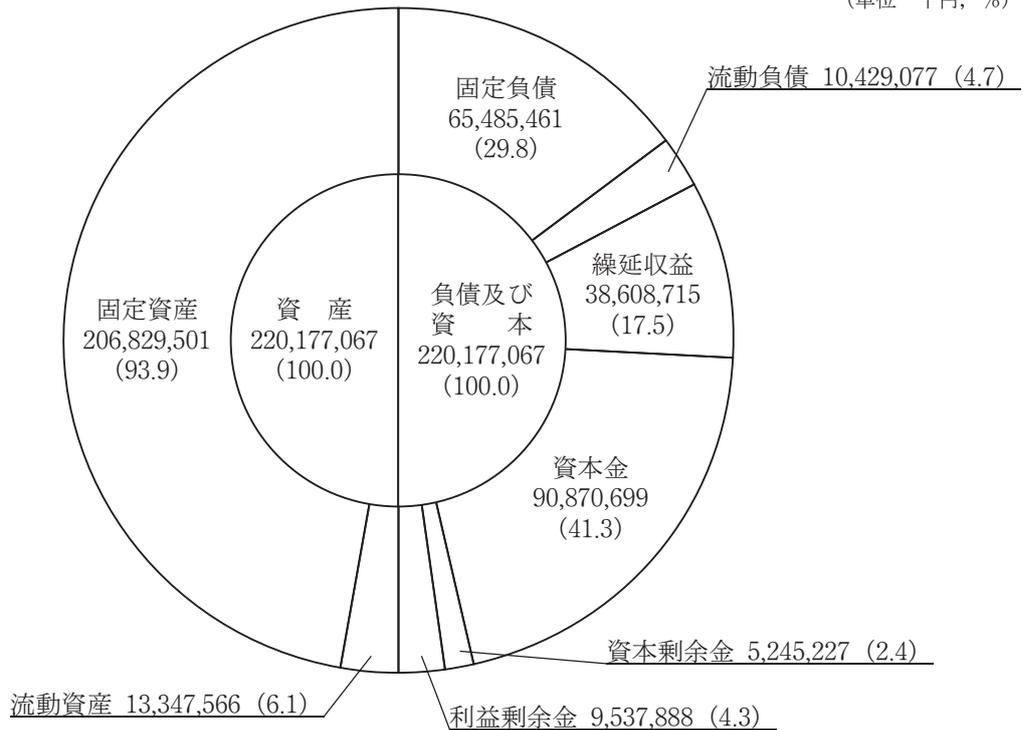
令和2年度広島市水道事業損益収支図表

(単位 千円, %)



令和2年度広島市水道事業貸借対照図表

(単位 千円, %)



令和 3 年度第 1 回広島市下水道事業の業務状況

1 事業の概況

(1) 令和 3 年度上半期（令和 3 年 4 月 1 日から同年 9 月 3 0 日まで）における処理水量等の状況

今期における処理水量は、9,021万2,986立方メートルで、これを前年同期の処理水量8,800万5,708立方メートルと比較すると、220万7,278立方メートル（2.5%）の増加となっています。

これは、降雨量が前年同期と比べて増加したことなどによるものです。

下水道使用料の徴収対象となる有収水量につきましては、5,906万3,118立方メートルで、前年同期と比較すると、35万6,869立方メートル（0.6%）の減少となっています。

水洗化の状況につきましては、整備区域の拡大と普及促進の結果、今期末における水洗化世帯数は54万7,238世帯で、前年同期と比較すると2,943世帯（0.5%）の増加となっています。

処理水量等の比較

区 分	令和 3 年度 上 半 期	令和 2 年度 上 半 期	比 較	
			増 △ 減	増減率%
処理水量 (m ³)	90,212,986	88,005,708	2,207,278	2.5
一日平均処理 水量 (m ³)	492,968	480,906	12,062	2.5
有収水量 (m ³)	59,063,118	59,419,987	△ 356,869	△ 0.6
処理区域内世 帯数 (世帯)	557,974	555,187	2,787	0.5
水洗化世帯数 (世帯)	547,238	544,295	2,943	0.5
水洗化率 (%)	98.0	98.0	0.0	—

(2) 令和 3 年度施行予定の工事の状況

ア 公共下水道整備事業

本事業は、市民生活の環境の改善、浸水の防除及び公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道施設を整備するもので、本年度は、事業費238億8,571万5,408円（前年度からの繰越額101億4,598万5,408円を含む。）で、吉島、観音、千田等41地区で総延長1万9,630メートルの管きよ布設及び改良を行い、また、ポンプ場23箇所及び水資源再生センター4箇所の整備を

行うこととしています。

イ 排水設備整備事業

本事業は、管きよの移設、排水設備と下水管との接続及び雨水樹と下水管との接続等を施行するもので、本年度は、事業費7億9,153万9,282円（前年度からの繰越額2億1,373万9,282円を含む。）で関連施設の整備を行うこととしています。

ウ 流域下水道整備事業

本年度は、広島県が施行する太田川流域下水道整備事業に対し、7,828万8,000円を負担することとしています。

エ 諸設備新設改良事業

本事業は、ポンプ場施設、水資源再生施設等諸設備の新設・改良を行う事業で、本年度は、事業費7,560万3,180円（前年度からの繰越額910万8,000円を含む。）で整備を行うこととしています。

オ 市街化区域外汚水処理施設整備事業

本事業は、市街化区域外における市民生活の環境の改善等を図るため、汚水処理施設等を整備するもので、本年度は、事業費14億4,113万6,320円（前年度からの繰越額6億1,014万6,500円を含む。）で、特定環境保全公共下水道整備として、安佐、可部等4地区の下水管きよの布設1,980メートルを行い、農業集落排水施設整備として、戸山及び白木地区の下水管きよの布設4,170メートルの整備を行い、市営浄化槽整備として、浄化槽30箇所の整備を行うこととしています。

2 経理の状況

令和 3 年度上半期の経理の状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

今期の収益的収入は、227億7,877万4,540円で、前年同期と比較すると、6億9,697万2,834円（3.0%）の減少となっています。

この主な理由は、下水道使用料の減少によるものです。

一方、収益的支出は、196億1,652万3,331円で、前年同期と比較すると、1億6,486万892円（0.8%）の減少となっています。

この主な理由は、支払利息及び企業債取扱諸費の減少によるものです。

収益的収支予算の執行状況

(収入)

区 分	令 和 3 年 度		執行率	前年同期収入額	比 較	
	予 算 額	今期収入額			増 △ 減	増減率
下 水 道 事 業 収 益	円 45,139,763,000	円 22,778,774,540	% 50.5	円 23,475,747,374	円 △ 696,972,834	% △ 3.0
営 業 収 益	35,256,938,000	22,755,431,817	64.5	23,379,598,858	△ 624,167,041	△ 2.7
下 水 道 使 用 料	21,018,692,000	8,616,806,556	41.0	9,168,984,379	△ 552,177,823	△ 6.0
一 般 会 計 負 担 金	14,028,460,000	14,028,460,000	100.0	14,119,224,000	△ 90,764,000	△ 0.6

その他営業収益	209,786,000	110,165,261	52.5	91,390,479	18,774,782	20.5
営業外収益	9,879,949,000	21,135,726	0.2	82,571,295	△ 61,435,569	△ 74.4
受取利息	84,000	20,383	24.3	102,738	△ 82,355	△ 80.2
国庫補助金	8,000,000	0	0.0	0	0	—
負担金	70,929,000	6,868,096	9.7	0	6,868,096	—
一般会計補助金	157,000	157,000	100.0	69,765,000	△ 69,608,000	△ 99.8
長期前受金戻入	9,777,274,000	0	0.0	0	0	—
雑収益	23,505,000	14,090,247	59.9	12,703,557	1,386,690	10.9
特別利益	2,876,000	2,206,997	76.7	13,577,221	△ 11,370,224	△ 83.7
固定資産売却益	0	0	—	11,767,688	△ 11,767,688	—
過年度損益修正益	2,876,000	2,206,997	76.7	1,809,533	397,464	22.0

(支出)

区分	令和3年度		執行率	前年同期支出額	比較	
	予算額	今期支出額			増△減	増減率
下水道事業費用	円 43,781,201,000	円 19,616,523,331	% 44.8	円 19,781,384,223	円 △ 164,860,892	% △ 0.8
営業費用	37,776,070,000	17,034,846,127	45.1	16,858,668,684	176,177,443	1.0
人件費	2,629,958,000	1,078,244,227	41.0	1,089,925,994	△ 11,681,767	△ 1.1
委託料	4,950,534,040	2,013,450,994	40.7	1,987,109,802	26,341,192	1.3
動力費	572,825,046	260,977,849	45.6	260,509,575	468,274	0.2
減価償却費	26,596,588,000	13,298,294,000	50.0	13,172,542,000	125,752,000	1.0
その他	3,026,164,914	383,879,057	12.7	348,581,313	35,297,744	10.1
営業外費用	5,982,874,000	2,570,716,587	43.0	2,918,026,265	△ 347,309,678	△ 11.9
支払利息及び 企業債取扱諸費	5,339,614,000	2,570,716,587	48.1	2,917,824,986	△ 347,108,399	△ 11.9
消費税及び地方消費税	643,243,000	0	0.0	0	0	—
雑支出	17,000	0	0.0	201,279	△ 201,279	—
特別損失	8,257,000	10,960,617	132.7	4,689,274	6,271,343	133.7
予備費	14,000,000	0	0.0	0	0	—

(2) 資本的収支の状況

今期の資本的収入は、117億5,839万5,547円で、前年同期と比較すると、1億5,951万1,577円(1.3%)の減少となっています。
この主な理由は、一般会計出資金の減少によるものです。

一方、資本的支出は、278億632万6,829円で、前年同期と比較すると、43億2,106万4,927円(18.4%)の増加となっています。
この主な理由は、企業債償還金の増加によるものです。

資本的収支予算の執行状況

(収入)

区分	令和3年度		執行率	前年同期収入額	比較	
	予算額	今期収入額			増△減	増減率
資本的収入	円 40,638,582,000	円 11,758,395,547	% 28.9	円 11,917,907,124	円 △ 159,511,577	% △ 1.3
建設企業債	15,354,500,000	0	0.0	0	0	—
借換債	15,840,900,000	7,920,450,000	50.0	6,670,300,000	1,250,150,000	18.7
一般会計出資金	3,708,020,000	3,708,020,000	100.0	5,111,287,000	△ 1,403,267,000	△ 27.5
国庫補助金	4,845,872,000	0	0.0	0	0	—
工事受託金	66,087,000	27,812,765	42.1	38,767,042	△ 10,954,277	△ 28.3
受益者負担金	16,959,000	10,864,825	64.1	15,313,287	△ 4,448,462	△ 29.0
受益者分担金	47,820,000	30,835,980	64.5	49,218,501	△ 18,382,521	△ 37.3
工事負担金	689,360,000	49,278,520	7.1	0	49,278,520	—

一般会計借入金	0	0	-	1,467,000	△ 1,467,000	△ 100.0
貸付金回収金	23,409,000	9,297,000	39.7	16,910,000	△ 7,613,000	△ 45.0
固定資産売却代金	45,655,000	1,836,457	4.0	14,644,294	△ 12,807,837	△ 87.5

(支出)

区分	令和3年度		執行率	前年同期支出額	比較	
	予算額	今期支出額			増△減	増減率
資本的支出	円 71,161,442,190	円 27,806,326,829	% 39.1	円 23,485,261,902	円 4,321,064,927	% 18.4
建設改良費	26,291,694,190	4,000,282,981	15.2	2,575,600,091	1,424,682,890	55.3
公共下水道整備費	23,885,715,408	3,587,775,529	15.0	2,188,603,451	1,399,172,078	63.9
受益者負担金業務費	18,912,000	5,447,125	28.8	4,319,545	1,127,580	26.1
排水設備	791,539,282	132,425,174	16.7	240,248,707	△ 107,823,533	△ 44.9
流域下水道整備費	78,288,000	10,528,508	13.4	0	10,528,508	-
諸設備新設改良費	75,603,180	17,797,780	23.5	1,281,060	16,516,720	1,289.3
建設利息	500,000	250,000	50.0	2,400,000	△ 2,150,000	△ 89.6
市街化区域外 污水处理施設整備費	1,441,136,320	246,058,865	17.1	138,747,328	107,311,537	77.3
償還金	44,848,785,000	23,805,545,848	53.1	20,908,871,811	2,896,674,037	13.9
企業債償還金	44,848,785,000	23,805,545,848	53.1	20,815,313,811	2,990,232,037	14.4
企業債償還積立金	0	0	-	93,558,000	△ 93,558,000	△ 100.0
水洗化貸付事業費	20,963,000	498,000	2.4	790,000	△ 292,000	△ 37.0
貸付金	17,111,000	498,000	2.9	790,000	△ 292,000	△ 37.0
水洗便所改造資金貸付金	10,479,000	0	0.0	0	0	-
し尿浄化槽廃止 資金貸付金	6,632,000	498,000	7.5	790,000	△ 292,000	△ 37.0
一般会計借入金償還金	3,852,000	0	-	0	0	-
水洗便所改造資金 貸付借入金償還金	3,852,000	0	-	0	0	-

3 資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高
令和3年9月30日現在における本事業の資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高は、次のとおりです。

- (1) 資産の現在高
 - ア 固定資産 7,900億6,967万2,459円
 - イ 流動資産 95億6,229万2,731円
 - 計 7,996億3,196万5,190円
- (2) 企業債の現在高 3,843億5,255万5,669円
- (3) 長期借入金の現在高 994万1,000円
- (4) 一時借入金の現在高 0円

4 令和2年度決算の状況

- (1) 事業の概況
 - ア 公共下水道整備事業
管きよ整備については、宇品、八木・緑井、江波地区等で総延長2万1,102メートルの布設工事及び改良工事を行い、未整備地区の処理区域を11ヘクタール拡大しました。
ポンプ場整備については、新千田ポンプ場の建設工事や、江波、庚午、大州、旭町ポンプ場等の改良工事を行いました。
水資源再生センター整備については、西部、千田、江波、

旭町水資源再生センターの改良工事を行いました。

- イ 市街化区域外污水处理施設整備事業
特定環境保全公共下水道整備として、安佐、可部、石内地区等で総延長1,536メートルの管きよ布設工事を行い、農業集落排水施設整備として、戸山地区等で総延長2,574メートルの管きよ布設工事、井原高南・鹿ノ道農業集落排水処理施設の改良工事を行い、市営浄化槽整備として、浄化槽10箇所の設置工事を行いました。

- (2) 収益的収支の状況
当年度の収益的収入は447億6,243万6,912円で、前年度と比較して2.0パーセントの減少となり、収益的支出は425億7,857万6,576円で、前年度と比較して2.4パーセントの減少となりました。

この結果、収益的収支は21億8,386万3,336円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額9億8,525万4,839円を除いた純利益は11億9,860万5,497円となりました。

- (3) 資本的収支の状況
当年度の資本的収入の435億147万9,204円から、翌年度繰越財源充当額4億7,207万6,807円を除いた額に対し、資本的支出は629億3,777万2,945円と

なり、差引き199億837万548円の資金不足となりました。

この不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補填しています。

令和2年度広島市下水道事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収入

区分	予 算 額					決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	流出 増減額	地方公営企業 法第24条 第3項の規定による支 出額に係る財源充当額	地方公営企業 法第26条 第2項の規定による繰 越額に係る財源充当額			
第1款 下水道事業収益	円	円	円	円	円	円	円	
第1項 営業収益	45,979,641,000	0	0	45,979,641,000	0	45,979,641,000	△ 1,217,204,088	
第2項 営業外収益	36,280,821,000	0	0	36,280,821,000	0	36,280,821,000	△ 1,226,382,610	(うち、仮受消費税及び地方消費税 1,912,321,088円)
第3項 特別利益	9,695,944,000	0	0	9,695,944,000	0	9,695,944,000	△ 4,373,941	(うち、仮受消費税及び地方消費税 3,886,035円)
	2,876,000	0	0	2,876,000	0	2,876,000	13,552,463	(うち、仮受消費税及び地方消費税 181,076円)

支出

区分	予 算 額					決算額	不用額	備 考
	当初予算額	補正 予算額	予備費 支出額	地方公営企業 法第24条第3 項の規定による 支出額	地方公営企業 法第26条第2 項の規定による繰 越額			
第1款 下水道事業費用	円	円	円	円	円	円	円	
第1項 営業費用	43,670,831,000	0	0	43,670,831,000	0	43,670,831,000	1,092,254,424	
第2項 営業外費用	36,891,213,000	0	0	36,891,213,000	0	36,891,213,000	466,413,654	(うち、仮払消費税及び地方消費税 668,949,204円)
第3項 特別損失	6,745,217,000	0	0	6,745,217,000	0	6,147,305,842	597,911,158	(うち、仮払消費税及び地方消費税 5,221,129円)
第4項 予備費	14,401,000	0	0	14,401,000	0	6,471,388	7,929,612	(うち、仮払消費税及び地方消費税 542,589円)
	20,000,000	0	0	20,000,000	0	20,000,000	20,000,000	

(収入) (支出)

44,762,436,912円 - 42,578,576,576円 = 2,183,860,336円
 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 △ 985,254,839円
 純利益 1,198,605,497円

(2) 資本的収入及び支出
収 入

区 分	予 算 額				決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	合計			
第1款 資本的収入	41,487,572,000	1,274,000,000	42,761,572,000	54,563,084,000	43,501,479,204	△ 11,061,604,796	企業債(建設企業債)の内訳 2年度財源充当額 31,675,500,000円 決算額 31,675,500,000円
第1項 企業債	30,422,500,000	637,000,000	31,059,500,000	38,202,700,000	31,675,500,000	△ 6,527,200,000	2年度不用品額 △ 143,800,000円 翌年度繰越財源充当額 △ 6,383,400,000円
第2項 一般会計 出 資 金	5,111,287,000	0	5,111,287,000	5,111,287,000	4,761,666,235	△ 349,620,765	予算額に比べ決算額の増減 △ 6,527,200,000円
第3項 国庫補助金	5,365,006,000	637,000,000	6,002,006,000	4,658,312,000	6,519,544,920	△ 4,140,773,080	
第4項 工事受託金	78,280,000	0	78,280,000	0	45,841,666	△ 32,438,334	[うち、仮受消費税及び地方消費税 4,167,424円]
第5項 負担金	478,891,000	0	478,891,000	0	466,572,335	△ 12,318,665	[うち、仮受消費税及び地方消費税 857,990円]
第6項 水洗化貸付 事業収入	26,516,000	0	26,516,000	0	17,140,000	△ 9,376,000	
第7項 固定資産 売却代金	5,092,000	0	5,092,000	0	15,214,048	10,122,048	

支 出

区 分	予 算 額				決 算 額	翌年度繰越額		不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	合計		地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	継続 費通 次繰 越額		
第1款 資本的支出	60,747,687,000	1,274,000,000	62,021,687,000	74,348,425,520	62,937,772,945	10,978,979,190	0	431,673,385	
第1項 建設改良費	16,861,537,000	1,274,000,000	18,135,537,000	20,462,275,520	19,067,078,431	10,978,979,190	0	416,217,899	[うち、仮払消費税及び 地方消費税 1,573,739,509円]
第2項 償 還 金	43,858,506,000	0	43,858,506,000	43,858,506,000	43,857,273,514	0	0	1,232,486	
第3項 水洗化貸付 事業費	27,644,000	0	27,644,000	0	13,421,000	0	0	14,223,000	

(注) 資本的収入額(翌年度繰越財源充当額472,076,807円を除く。)が、資本的支出額に対して不足する額19,908,370,548円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額985,254,839円、繰越
工事資金525,226,520円、当年度分損益勘定留保資金17,018,987,072円及び減価償立金1,378,902,117円をもって補填した。

令和2年度広島市下水道事業損益計算書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益			
(1) 下水道使用料	18,964,251,289		
(2) 一般会計負担金	14,017,872,562		
(3) その他営業収益	<u>159,993,501</u>	33,142,117,352	
2 営業費用			
(1) 管きよ費	485,880,699		
(2) 水質指導費	52,711,857		
(3) ポンプ場費	2,032,760,727		
(4) 処理場費	4,719,177,084		
(5) 普及促進費	81,201,348		
(6) 水洗化貸付事業費	10,620,421		
(7) 業務費	985,766,772		
(8) 総係費	481,098,224		
(9) 特環公共下水道費	93,970,227		
(10) 農業集落排水費	231,554,928		
(11) 浄化槽費	58,247,188		
(12) 減価償却費	26,280,309,148		
(13) 資産減耗費	<u>242,551,519</u>	<u>35,755,850,142</u>	
営業損失			2,613,732,790
3 営業外収益			
(1) 受取利息	162,051		
(2) 負担金	86,057,260		
(3) 一般会計補助金	71,000,911		
(4) 長期前受金戻入	9,503,873,595		
(5) 雑収益	<u>28,656,458</u>	9,689,750,275	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	5,717,916,677		
(2) 雑支出	<u>169,813,899</u>	<u>5,887,730,576</u>	<u>3,802,019,699</u>
経常利益			1,188,286,909
5 特別利益			
(1) 固定資産売却益	11,767,688		
(2) 過年度損益修正益	2,374,864		
(3) その他特別利益	<u>2,104,835</u>	16,247,387	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>5,928,799</u>	<u>5,928,799</u>	<u>10,318,588</u>
当年度純利益			1,198,605,497
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金 変動額			<u>1,378,902,117</u>
当年度未処分利益剰余金			<u><u>2,577,507,614</u></u>

令和2年度広島市下水道事業剰余金計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

	剰余金											資本合計				
	資本金			剰余金			剰余金			利益剰余金						
	受贈財産評価額	国庫補助金	県補助金	受益者負担金	受益者分担金	工事負担金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	減債積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計					
前年度末残高	円	103,297,876,211	9,240,143,315	21,432,966,611	223,100,524	202,670,890	3,199,766	5,460,008,502	264,215,320	36,826,304,928	円	1,378,902,117	3,217,310,225	4,596,212,342	円	144,720,393,481
前年度処分額	円	1,843,372,883	0	0	0	0	0	0	0	0	円	1,373,987,342	△ 3,217,310,225	△ 1,843,372,883	円	0
議会の議決による処分額	円	1,843,372,883	0	0	0	0	0	0	0	0	円	1,373,987,342	△ 3,217,310,225	△ 1,843,372,883	円	0
減債積立金の積立	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	円	1,373,987,342	△ 1,373,987,342	0	円	0
資本金への組入	円	1,843,372,883	0	0	0	0	0	0	0	0	円	0	△ 1,843,372,883	△ 1,843,372,883	円	0
処分後残高	円	105,141,249,094	9,240,143,315	21,432,966,611	223,100,524	202,670,890	3,199,766	5,460,008,502	264,215,320	36,826,304,928	円	2,752,839,459	0	2,752,839,459	円	144,720,393,481
当年度変動額	円	4,761,666,235	2,914,840	0	0	0	0	325,453,130	15,214,048	343,582,018	円	△ 1,378,902,117	2,577,507,614	1,198,605,497	円	6,303,853,750
資本剰余金の受入	円	0	2,914,840	0	0	0	0	325,453,130	15,214,048	343,582,018	円	0	0	0	円	343,582,018
償却積立金の取崩	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	円	△ 1,378,902,117	1,378,902,117	0	円	0
一般会計出資金	円	4,761,666,235	0	0	0	0	0	0	0	0	円	0	0	0	円	4,761,666,235
当年度純利益	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	円	0	0	0	円	1,198,605,497
当年度末残高	円	109,902,915,329	9,243,058,155	21,432,966,611	223,100,524	202,670,890	3,199,766	5,785,461,632	279,429,368	37,169,886,946	円	1,373,987,342	(当年度未処分利益剰余金) 2,577,507,614	3,951,444,956	円	151,024,247,231

令和2年度広島市下水道事業剰余金処分計算書

	資本金	剰余金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	円	109,902,915,329	37,169,886,946	円
議会の議決による処分額	円	1,378,902,117	0	2,577,507,614
減債積立金の積立	円	0	0	△ 2,577,507,614
資本金への組入れ	円	1,378,902,117	0	△ 1,198,605,497
処分後残高	円	111,281,817,446	37,169,886,946	(繰越利益剰余金) 0

令和2年度広島市下水道事業貸借対照表
(令和3年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		52,268,248,227	
ロ 建 物	39,878,893,721		
減価償却累計額	<u>△ 26,615,130,050</u>	13,263,763,671	
ハ 構 築 物	1,113,806,501,508		
減価償却累計額	<u>△ 471,798,307,174</u>	642,008,194,334	
ニ 機 械 及 び 装 置	162,414,211,120		
減価償却累計額	<u>△ 103,171,501,977</u>	59,242,709,143	
ホ 車 両 運 搬 具	80,514,083		
減価償却累計額	<u>△ 57,240,480</u>	23,273,603	
ヘ 工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	144,241,647		
減価償却累計額	<u>△ 110,296,251</u>	33,945,396	
ト 建 設 仮 勘 定		<u>13,759,534,752</u>	
有形固定資産合計			780,599,669,126

(2) 無形固定資産

イ 地 上 権		702,839	
ロ 施 設 利 用 権		5,360,542,234	
ハ 電 話 加 入 権		16,510,003	
ニ ソ フ ト ウ ェ ア		1	
ホ 著 作 権		<u>1,060,741</u>	
無形固定資産合計			5,378,815,818

(3) 投資その他の資産

イ 水洗便所改造資金貸付金		10,861,000	
ロ し尿浄化槽廃止資金貸付金		6,027,000	
ハ 出 資 金		132,175,000	
ニ 破産更生債権等貸倒引当金	859,199	<u>△ 859,199</u>	0
投資その他の資産合計			<u>149,063,000</u>

固定資産合計 786,127,547,944

2 流動資産

(1) 現金預金		9,217,268,595	
(2) 未収金	2,445,644,467		
貸倒引当金	<u>△ 120,398,759</u>	2,325,245,708	
(3) 有価証券		6,000,000	
(4) 前払金		2,326,551,423	
(5) その他流動資産		<u>26,422,781</u>	

流動資産合計 13,901,488,507

資産合計 800,029,036,451

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	350,504,038,153	
ロ	その他の企業債	<u>175,840,000</u>	
	企業債合計		350,679,878,153

(2) 長期借入金

イ	水洗便所改造 資金貸付借入金	7,311,000	
ロ	し尿浄化槽廃止 資金貸付借入金	<u>2,630,000</u>	
	長期借入金合計		<u>9,941,000</u>

固定負債合計 350,689,819,153

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	44,823,443,364	
ロ	その他の企業債	<u>21,980,000</u>	
	企業債合計		44,845,423,364

(2) 未 払 金

9,973,084,469

(3) 前 受 金

4,489,080

(4) 引 当 金

イ	賞与引当金	<u>185,967,000</u>	
	引当金合計		185,967,000

(5) その他流動負債

523,910,312

流動負債合計 55,532,874,225

5 繰 延 収 益

(1) 長期前受金

イ	受贈財産評価額	80,733,354,338	
	収益化累計額	<u>△ 41,931,088,747</u>	38,802,265,591
ロ	国庫補助金	319,508,452,648	
	収益化累計額	<u>△ 152,539,548,206</u>	166,968,904,442
ハ	県補助金	7,907,066,824	
	収益化累計額	<u>△ 2,734,814,282</u>	5,172,252,542
ニ	受益者負担金	10,246,860,351	
	収益化累計額	<u>△ 5,209,061,299</u>	5,037,799,052
ホ	受益者分担金	1,341,942,003	
	収益化累計額	<u>△ 250,317,443</u>	1,091,624,560
ヘ	工事負担金	46,879,261,334	
	収益化累計額	<u>△ 21,304,609,160</u>	25,574,652,174
ト	その他長期前受金	250,316,997	
	収益化累計額	<u>△ 115,719,516</u>	<u>134,597,481</u>

長期前受金合計 242,782,095,842

繰延収益合計 242,782,095,842

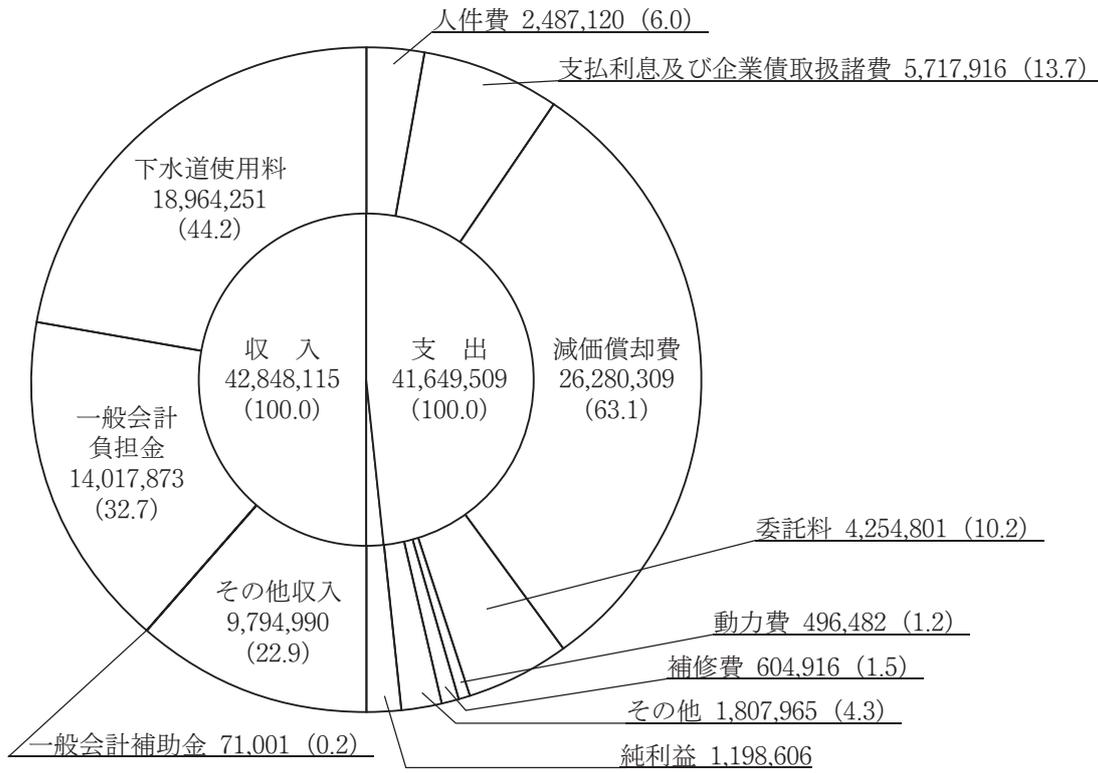
負債合計 649,004,789,220

資 本 の 部

6 資 本 金			109,902,915,329
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 受 贈 財 産 評 価 額	9,243,058,155		
ロ 国 庫 補 助 金	21,432,966,611		
ハ 県 補 助 金	223,100,524		
ニ 受 益 者 負 担 金	202,670,890		
ホ 受 益 者 分 担 金	3,199,766		
ヘ 工 事 負 担 金	5,785,461,632		
ト その他資本剰余金	<u>279,429,368</u>		
資 本 剰 余 金 合 計		37,169,886,946	
(2) 利 益 剰 余 金			
イ 減 債 積 立 金	1,373,937,342		
ロ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>2,577,507,614</u>		
利 益 剰 余 金 合 計		<u>3,951,444,956</u>	
剰 余 金 合 計			<u>41,121,331,902</u>
資 本 合 計			<u>151,024,247,231</u>
負 債 資 本 合 計			<u>800,029,036,451</u>

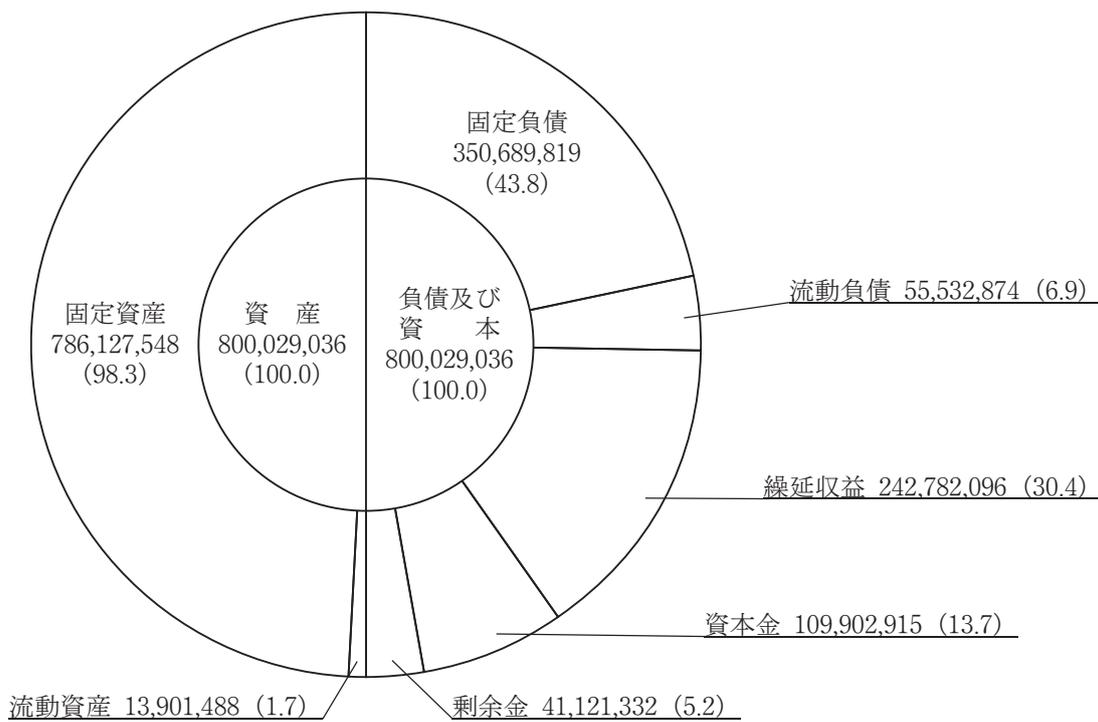
令和2年度広島市下水道事業損益収支図表

(単位：千円，%)



令和2年度広島市下水道事業貸借対照図表

(単位：千円，%)



令和3年度第1回広島市安芸市民病院事業の業務状況

1 事業の概況

令和3年度上半期（自令和3年4月1日至同年9月30日）における広島市安芸市民病院事業の概況は、次のとおりです。

(1) 患者の利用状況

今期の入院患者の延数は2万4,277人で、前年同期に比べ33人（0.1%）減少しました。

また、外来患者の延数は2万3,976人で、前年同期に比べ8,075人（50.8%）増加しました。

患者数の比較

区分	年度	令和3年度		令和2年度		比較	
		延数	人	延数	人	増△減	増減率
入院	延数	24,277	人	24,310	人	△33	△0.1
	一日平均	132.7		132.8		△0.1	△0.1

外来	延数	23,976	15,901	8,075	50.8
	一日平均	196.5	130.3	66.2	50.8
合計	延数	48,253	40,211	8,042	20.0
	一日平均	329.2	263.1	66.1	25.1

(2) 工事の状況

今期の工事の状況は、該当ありません。

(3) 医療機器の整備状況

今期の医療機器の整備の状況は、該当ありません。

2 経理の状況

令和3年度上半期の予算執行状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

今期の収益的収入は10億7,132万1,334円で、前年同期に比べ5.3%増加しました。

また、収益的支出は9億2,887万7,953円で、前年同期に比べ2.0%増加しました。

収 入

区 分	令和3年度			前年同期収入	比 較	
	予算額	収入額	執行率		増△減	増減率
病院事業収益	2,171,590,000	1,071,321,334	49.3	1,017,652,873	53,668,461	5.3
医業収益	1,937,446,000	976,959,207	50.4	923,975,134	52,984,073	5.7
入院収益	1,414,131,000	710,941,114	50.3	698,974,608	11,966,506	1.7
外来収益	426,880,000	208,873,061	48.9	174,491,553	34,381,508	19.7
その他医業収益	96,435,000	57,145,032	59.3	50,508,973	6,636,059	13.1
医業外収益	232,968,000	94,257,919	40.5	93,528,774	729,145	0.8
特別利益	1,176,000	104,208	8.9	148,965	△44,757	△30.0

支 出

区 分	令和3年度			前年同期支出	比 較	
	予算額	支出額	執行率		増△減	増減率
病院事業費用	2,170,386,000	902,887,953	41.6	884,977,124	17,910,829	2.0
医業費用	2,131,336,000	890,584,138	41.8	872,764,734	17,819,404	2.0
給与費	11,466,000	3,669,838	32.0	4,231,144	△561,306	△13.3
経費	2,030,853,000	886,914,300	43.7	868,533,590	18,380,710	2.1
その他	89,017,000	0	0.0	0	0	—
医業外費用	31,050,000	10,617,386	34.2	11,573,345	△955,959	△8.3
特別損失	3,000,000	1,686,429	56.2	639,045	1,047,384	163.9
予備費	5,000,000	0	0.0	0	0	—

(2) 資本的収支の状況

今期の資本的収入は1億1,406万9,000円で、前年同期に比べ0.8%増加しました。

また、資本的支出は9,878万8,075円で、前年同期に比べ23.9%増加しました。

収 入

区 分	令和3年度			前年同期収入	比 較	
	予算額	収入額	執行率		増△減	増減率
	円	円	%	円	円	%

資本的収入	191,569,000	114,069,000	59.5	113,134,000	935,000	0.8
企業債	77,500,000	0	0.0	0	0	—
負担金	114,069,000	114,069,000	100.0	113,134,000	935,000	0.8

支出

区 分	令和3年度			前年同期支出	比較	
	予算額	支出額	執行率		増△減	増減率
資本的支出	円 235,144,000	円 98,788,075	% 42.0	円 79,761,964	円 19,026,111	% 23.9
建設改良費	77,500,000	20,200,000	26.1	0	20,200,000	—
改良費	77,500,000	20,200,000	26.1	0	20,200,000	—
資産購入費	0	0	—	0	0	—
企業債償還金	157,644,000	78,588,075	49.9	79,761,964	△ 1,173,889	△ 1.5

3 資産、企業債及び長期借入金の現在高

令和3年9月30日現在の資産、企業債及び長期借入金の現在高は、次表のとおりです。

区 分	金額
資産の現在高	円 固定資産 2,404,676,142
	流動資産 529,237,510
	計 2,933,913,652
企業債の現在高	1,193,714,853
長期借入金の現在高	41,908,733

4 令和2年度決算の状況

令和2年度決算の状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

事業収益は、20億6,572万755円で、前年度と比較して4,871万946円（2.3%）減少しました。このうち、入院・外来収益の合計は、17億7,782万6,859円で、入院・外来の年間患者延数の減等により、前年度と比較して2,173万9,730円（1.2%）減少しました。

一方、事業費用は、20億6,356万6,596円で、前

年度と比較して5,324万1,377円（2.5%）減少しました。費用が減少した主な理由は、外来収益の減少に伴い診療報酬交付金が減少したこと等により、負担金補助及び交付金が前年度と比較して3,321万3,345円（1.8%）減少したことなどによるものです。

この結果、収益的収支は215万4,159円の純利益となり、237万6,272円の赤字であった前年度と比較して収支が453万431円改善しました。

(2) 資本的収支の状況

資本的収入は、1億1,313万3,938円に対して、資本的支出は、1億5,998万3,938円で、差引き4,685万円の資本的収支不足額を生じました。この不足額は、過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

(3) 欠損金処理の状況

未処理欠損金は、前年度からの繰越欠損金5億5,878万9,905円から当年度純利益215万4,159円を差し引き、5億5,663万5,746円となりました。この欠損金は、令和3年度に繰り越しました。

